

テレマカシーとは? ▶ Terima kasih = インドネシア語で感謝を表す言葉。在宅で看取らせていただいたある方は海外旅行が大好きでした。その方が最期にご家族に残された素敵な言葉を使わせていただきました。

暑中お見舞い申し上げます

まだ50年も生きていないのに50億歳の地球の変化を感じます
他人事と考えずに、ひとりひとりができることを実行していきましょう
「青い地球」を未来に残すために

ひばりクリニック 高橋 昭彦



日曜日

ある日曜日、近所を歩いてみた
車の通りの少ない道を選んで歩くと
雨上がりの木々が青々としている

途中でスーパーによって食材を買う
およそ1時間歩いて帰宅すると昼時である
ズッキーニとハムを塩胡椒で炒める

今日は車に頼らずに買い物が出た
少し体も動かすことができた
なんだか得した気分になった



伸びろ！サトイモ

ひばりクリニックで育てているサトイモ君です。
大地の恵みを受けてスクスク育っています。

千葉県千葉リハビリテーションセンター 陽育園 見学記

人工呼吸器をつけた子どもの預かりを積極的に行う施設が千葉にある。千葉県が設立し千葉県身体障害者福祉事業団が運営する「千葉リハビリテーションセンター 陽育園(よういくえん)」である。T-プロジェクトメンバーと共に、平成19年5月16日陽育園を訪れた。

理念にしばれる

陽育園は60床(ベッド数のこと)を有する重症心身障害児施設である。理念には、長期措置入所は養護性が明らかなケースを優先、60床のうち10床を流動的に運用し在宅療育を積極的に支援、医療的介護度の高いケースを積極的に受け入れる…とある。これを実行されているところが素晴らしい。

陽育園の石井光子園長

園長の石井光子さんは笑顔で私たちの前に現れた。以前、栃木県で講演された際、石井さんは「人工呼吸器の子どもは行き来が大変だから、1週間程度預かる」と言っておられた。「そんなところがあるのか、一度見学に行きたい」と思っていた。小児科部長であり発言力もある石井さんが、何かあれば私が責任を取るといって、スタッフを励ましていくうちに、陽育園は人工呼吸器をつけた子どもを「普通に預かる」施設になっていった。

預かりの実績

利用統計によると、確かに人工呼吸器をつけた子どもを預かっている。平成17年度の短期入所は年間延べ3855日、うち超重症児は、53件347日。18年度の最新データでは、超重症児の短期入所は、12人に対して50件、250日。このうち、人工呼吸器をつけた子どもは10人で43件、218日。呼吸器をつけた子どもは1回(件)で平均5日預かっている。

支える体制

陽育園は2つの棟からなり、B棟は医療的ケアが少ない利用者、

C棟は医療ケアが濃厚な利用者の居住棟である。B棟とC棟の間の壁はなく、一体として運営されている。60床のうち、10床は短期入所、緊急入院など利用者のニーズに合わせた流動的なベッドである。長期措置入所以外に「有目的入所」といって、母親の出産、父親の入院、兄弟の療育などのための入所も受け入れているのは心強い。

これだけの職員体制(表)をとっている陽育園であるが、短期入所10人のうち、人工呼吸器をつけた人は2人までと決めている。夜勤は、看護師4人、保育士1人で60人までの対応をしなければならないからである。医師は石井さんをいれて5人の小児科医が陽育園60床、肢体不自由児施設64床と母子入園施設7床、さらに、小児科の外来診療を行う。小児科医以外が当直のときは、何かあればすぐ呼ばれる。

“考える看護師”が育つ

平成10年に開設された陽育園だが、人工呼吸器をつけた子どもの短期入所は2年待った。長期入所中の重症心身障害児のケアをスタッフが学んで経験を積んでから始めたのである。短期入所は「短期決戦」。特に呼吸器をつけた子どもは個性が高く、親の要求度も高い。短期入所の初日には、他のスタッフに伝える情報整理に5時間もかかるほど、受け入れには時間と労力が必要なのだ。

ケアの中核を担う看護師は、何かおかしい、と思ったら、まずバッグを押す、吸引する、人工呼吸器をみるなど、いろいろやってみる。それでだめなら医者を呼ぶ。そのいろいろやることで「考える看護師」が育つ。何かあったとき、「なぜそうなるのか」を考えるのはとても大切だと石井さんは言う。

ケアの考え方には学ぶ点が多い

陽育園のケアの考え方は、「3A=安全、安心、安楽」。まず安全であること、家族が安心できること、その上で本人が安楽(楽



吸引をする石井光子医師

陽育園のスタッフ

日勤 看護師 30名
福祉系職員(保育士) 21名

深夜勤 看護師 4名
福祉系 1名 に対応

C棟は主に看護師が中心となって生活援助や医療ケアを行う

しい)こと。安全と安心がなければ、安楽はありえない。

そして、一般論でこちらの考え方を押し付けないこと。たとえば、母親のやり方ではなく、スタッフが別のやり方で行うと、結構痛い目にあうことが多い。毎日その子どものケアを行っている母親のやり方を踏襲するのが原則だという。

重度の子どもを預かるわけであるから、いろんなことが起こる。過去に突然死もあった。毎年、長期入所児を、12名は看取るという。重度心身障害児を預かるということは、命を預かるという側面もある。

採算性

短期入所は医療保険では外来扱いである。自宅から人工呼吸器や酸素濃縮器が持ち込まれてケアを行うのだが、人工呼吸器や酸素の管理などの点数は陽育園では取れない。しかし、電気代(結構かかる)は陽育園で負担をするという。重度心身障害児短期入所の報酬は1日およそ23,000円。これでも採算はギリギリで、医療ケアが軽い子と重い子がいるからなんとかやれる、重い子だけではきついと石井さんは言う。

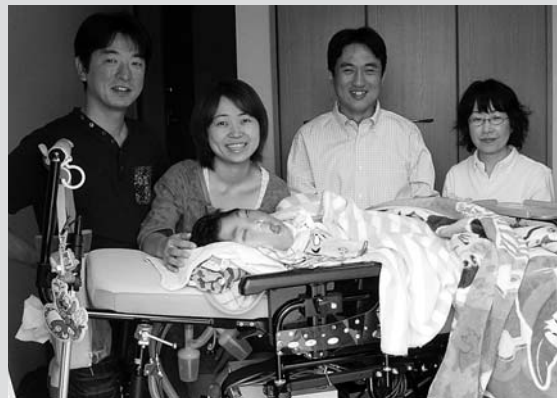
感想

園内を見せていただいた。広い間取り、やわらかな光が差す清潔な室内、明るいスタッフ。ホールには、呼吸器をつけている女性がいた。住田三紗さんである(ご本人了解のもと写真を掲載)。三紗さんの枕元には、アイドルのうちわ(マツジュンというそうなの)があった。コンサートも行くのだという。

ここには、人工呼吸器をつけた人が普通に暮らしている。その中でスタッフも利用者も成長していく。呼吸器のケアに毎日なれているから、臨時で受ける短期入所にも対応できる。千葉県の陽育園の取り組みは、人工呼吸器をつけた子どもと家族に、ほっとできる時間と安心を提供している。



マツジュンが好きな三紗さんと一緒に



ようこそ尊君!(前列・尊君、後列向かって左からご両親、高橋、内納)

T-プロジェクトは、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスの構築を行うために始まった事業です。「やる気」、「適切なケアが行える人材」、「預かる仕組み」の3つが確保できれば、規模の小さな診療所であっても、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスが可能であることを実証したいと考えています。

「6月から預かりをはじめました」

預かりに先立ち、人工呼吸器をつけた尊(たける)君の車椅子がクリニックに入るかどうか確かめました。しかし、玄関からは入れたものの、奥の和室の手前で、車椅子の車輪がドアにひかかり断念。トヨタ車体整備の高野さんが木製のスロープを作ってください、ようやく和室まで尊君が入れるようになりました。

送迎、入り口、スロープ・・・実際にやってみてはじめて見えてきたことがたくさんあります。まずは、限られた人手で、こちらのできる範囲で預かるというスタイルです。制度を使えば採算が成り立つのか?

主治医でない子どもを預かるとしたら?・・・さらに模索が続きます。



尊君三線を聴く

T-プロジェクトに対し、ボランティア、ご寄付、アイデア提供などさまざまな形でご支援くださいました皆さん、本当にありがとうございました。

プライマリ・ケア 行動医学研究会 in 四万温泉

群 馬県四万(しま)温泉は四万川のほとりにある温泉郷。四万地区唯一の診療所である四万診療所は国有林の中にある。プライマリ・ケア行動医学研究会(古屋聡代表)のミーティングがこのたび開かれた。

参加したのはプライマリケア、つまり地域でかかりつけ、あるいは家庭医という役割を担う医師たちである。マンマーに毎月1週間ほど滞在して医療支援をする人。最期まで安心して住み続けられる街づくりを目指し多摩ニュータウンで活動する人。漢方を実際をわかりやすくまとめて、データベース化して教えてくれる人もいる。主催者の四万診療所所長の高橋美由規さんは、地元の人たちと流暢な八木節を踊っていた。



八木節を踊る女性医師の皆さん(後列) 特に印象深かったのが、長野県



風情のある路地(四万温泉)

佐久市の川妻史明さんが紹介した「3:1:2のバランス弁当」の話。直方体の弁当箱を上から見た表面積で3:1:2の割合に、主食(ごはん)、主菜(たんぱく質食品)、副菜(野菜・きのこ・海藻)となるようにきっちり詰めると、(多分揚げ物を入れなければ)弁当箱の容量(ml)が弁当のエネルギー(kcal)に相当するというもの(下記の本参照)。毎食このような比率で食べると、バランスよく食べられる。私たちがいかに、ご飯を食べなくなった

のか、たんぱく質を食べ過ぎているのかがよくわかる。実際に、この話を聴いてから、私はこれまでよりご飯の量を増やした。すると、お腹もちがいいのか、間食しなくてすむようになった。大学時代の同窓生とも久々に会うことができ、元気をいただいて清流の流れる四万温泉を後にした。

『3・1・2弁当箱ダイエット法
自分にぴったりの1食分がひと目でわかる!』
足立己幸・針谷順子(著) 群羊社

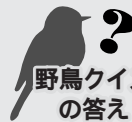


わっどわ〜く

テレマカシー12号に寄せられた感想から

「ひばりクリニック〜5年間をふりかえって〜」について「ふりかえり」大切なことだと思いました。私も迷ったとき、気持ちが弱くなったとき「理念」と「初心」に立ち戻ります。(小山市 Nさん)
いろいろと愚痴が出やすい医療情勢ですが、テレマカシーには「愚痴」も「言い訳」もないところがいい。小生もお上のやることには不満を言うよりは、そのヒマがあれば、自分のやりたいこと、やらなければならないことをやるべきと思っています。(宇都宮市 Yさん)

切手をお送りいただきました皆さん、ありがとうございます。



野鳥クイズの答え

前回、ひばり畑にあらわれた野鳥とは? で、おなかは茶色、大きさはすずめより少し大きめの鳥について皆様にお尋ねしたところ、5名の方から「ジョウビタキ」ではないかとお答えがありました。図鑑でみると、見事正解。人里にもやってくる鳥のようです。ありがとうございました。



地球にやさしいひとくちメモ

小さな紙もリサイクルしましょう

小さな紙のゴミでも、リサイクルできるようになってきました。封筒をリサイクルするには、セロテープなど紙以外のものは、はがす必要があります。差出人の皆様、お手数ですが、のりで封をしていただくと助かります。

「ひばりクリニック」のご案内

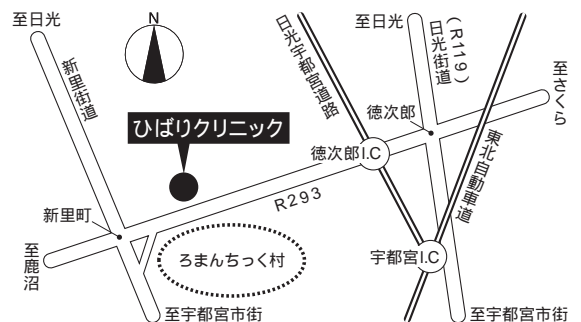
診療時間

時間	日	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	(休)			(休)		訪問診療	
午後 (在宅医療)	(診)	訪問	訪問	(診)	訪問		訪問

ひばりクリニックの運営理念

- 1) 在宅で過ごされるご利用者に出前の医療を提供すること
- 2) 子どもからお年寄りまで診る家庭医の機能を提供すること
- 3) 障害児・者やお年寄りの生活を支える市民活動を支援すること

栃木県宇都宮市の西北部、新里町(にっさとまち)にある、ログハウス風の小さな診療所です。



〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14
TEL 028-665-8890 FAX 028-665-8899
E-mail hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp

この通信は、子どもから大人まで、障害のある人もない人もどんな人も社会から排除されることなく、地域と一緒に生きていける世の中を目指して、ひばりクリニックが企画・編集しております。この通信についてのご意見・ご感想はひばりクリニックまでお寄せください。